

ほんのひろば

2018年

だい
第28号

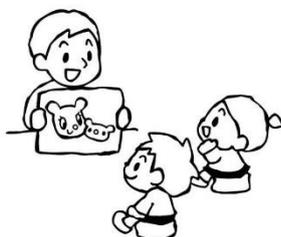


おはなしかいのお知らせ

みんなは、おはなしかいにきたことはあるかな？ 学習センター・和室でまってるよ♪

おはなしひろば

4さい～小学生むけ



これからの よてい

ひにち	テーマ
1月5日(土)	お正月
2月3日(日)	おに鬼
3月2日(土)	ひなまつり

★毎月1回(予定を確認してください) ★午前11時～11時45分

★テーマにあわせた絵本のよみきかせ、本の紹介、手あそびなど。

※おはなしかいのスタンプカードがあります。スタンプをあつめるとプレゼントがもらえるよ。

おひざにだっこの おはなしかい

3さいまでのお子さんと保護者むけ



これからの よてい

12月13日
1月10日
2月14日
3月14日

★毎月第2木曜日 ★午前10時30分～11時

★絵本のよみきかせ、手あそびなど。

おはなしかいのようす

「おはなしひろばプチスペシャル」のようすです。
しちょうかく室に集まって、楽しくおはなしをきいたり、工作をしています。パネルシアターや大きな絵本など、めずらしいプログラムもみどころです！

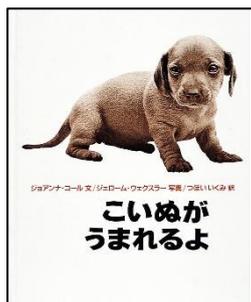


としょかん おすすめのほん



『こいぬがうまれるよ』

ジョアンナ・コール／文 ジェローム・ウェクスラー／写真
つばい いくみ／訳 福音館書店 (B64-コルジ)



生まれたばかりの仔犬をみたことがありますか？ 目も見えず、耳の穴もふさがっている、赤ちゃんが、元気に走りまわれるようになるまでを紹介しています。赤ちゃんが生まれるリアルさやぬくもりを感じながら、いのちのたくましさと大切さを学べます。

『みぢかな樹木のえほん』

生きものやくらしとつながる「一本の木の物語」

国土緑化推進機構／編 平田 美沙子／絵
ポプラ社 (B65-ミジカ)



サクラやカエデ、スギなど、校庭や公園で見られる樹木30種類がイラストでわかりやすく学べる本です。机やイスがどんな樹からできているのかなど、わたしたちのくらしとのつながりもわかります。

『ホイホイとフムフム たいへんなさんぽ』

マージョリー ワインマン シャーマット／文
バーバラ クーニー／絵 福本 友美子／訳

ほるぷ出版 (Y93-シヤマ)



友だちのフムフムをさんぽにさそいに来たホイホイ。けれど、フムフムは一度もさんぽをしたことがありません。2ひきのさんぽは、いったいどうなるのでしょうか。

ゆるりとしたさんぽをする2匹のやりとりに、思わずクスリとわらってしまいます。

『さやかちゃん』

くすのき しげのり／作 こば ようこ／絵
ポプラ社 (E-コバヨ)



しゅうとのクラスに、転校生のさやかちゃんがやってきました。しゅうとは最初の友達になりますが、クラスメイトに徳島の話方をからかわれたさやかちゃんをかわってあげられず、悲しませてしまいます。仲直りをしたいしゅうとですが……？

『おばけ道、ただいま工事中！？』

草野 あきこ／作 平澤 朋子／絵

岩崎書店 (Y913-クサノ)



ある夜中、いきなり翔太の部屋に死んだ人がおばけ界に行くためのおばけ道が通ることに！ 工事が終わるまでの一週間、翔太はねこを追いかけておばけ道に入ったり、おばけから手紙をもらったり思わぬ体験をたくさんします。

『ちがうもん』

ひろかわ さえこ／著 ハッピーオウル社 (E-ヒロカ)



お買い物物の帰り道。ぶうちゃんのおかあさんはぐうぜん会ったお友達とべちやくちやおしゃべりが止まりません。待っている間、ぶうちゃんは知らない子のるるちゃんと遊ぶことになります。でも、るるちゃんはずっとおこっているように見えます。さて、どうしましょう？



おはなしひろばで

しょうかいした ほん



テーマ・こわいはなし

『おばけにてそうろう』（Eーイノウ）

井上 洋介／えとぶん 大日本図書

おばけってどんなものか聞かれたら、あなたはどんな姿を思い浮かべますか？ この本に出てくるのは、じゃぐちのおばけや三日月のおばけなど、見たことのないような、へんてこなおばけばかり。こんなおばけなら、こわくないかも！？

『世界のおまつり 世界の子どもたち』

（B38ーキングダ） アナベル・キングダスリー／文

バーナバス・キングダスリー／写真 ほるぷ出版

世界にはいろいろな国があり、いろいろな文化があります。この本では、季節ごとのたくさんの世界のお祭りを知ることができます。日本のお祭りのころ、ほかの国がどんなお祭りを行っているか、比べてみるのも面白いかもしれませんよ。

『しゃっくりがいこつ』（Eーシンド）

マージェリ・カイラー／作 S. D. シンドラー／絵

黒宮 純子／訳 らんか社

ヒックヒックとしゃっくりが出て止まらなくなってしまうがいこつ。ふつうの人なら、息を止めたり水を飲んだりできるけれど、ほねだけの体のがいこつには効果がありません。さて、どうやってしゃっくりを止めたらいいでしょうか？

テーマ・つきみ

『ぼっかりつきがでましたら』（Eーワタナ）

内田 麟太郎／文 渡辺 有一／絵 文研出版

夜になって、月が出た。……と思ったら、あらあら？ 丸いかたちの、かば！？ 月かと思いきや、つぎつぎとちがう何かがお空にうかぶようすが笑える絵本です。声に出して読むと、さらに楽しめるかも！？

『月の満ちかけ絵本』（B44ーオオエ）

大枝 史郎／文 佐藤 みき／絵 あすなろ書房

月は、毎日見えるすがたや位置を変えます。満月や三日月はおなじみですが、この本ではそのほかの形のすてきな名前や由来を紹介しています。

29日と半日かけた満ちかけを知ること、月のうかぶ空をより身近に感じてみませんか？

『もしきみが月だったら』（Eーキムジ）

ローラ・パーディ・サラス／文

ジェイミー・キム／絵 木坂 涼／訳 光村教育図書

お月さまは、なんにもしないで空にうかんでいるようで、実はいろんなお仕事をしています。潮の満ち引きや月の満ちかけなどの少しむずかしいしくみも、月になったつもりで楽しく勉強できます。

理科がちよっぴり苦手な人にもおすすめのほんです。



おひざにだっこのおはなしかいで

しょうかいした ほん



『えーんあーんないちゃだめー』（Eーカコサ）

かこ さとし／さく・え ポプラ社

あかちゃんがないています。あらあら、どうしたのでしょうか。でも、おかあさんがきてなぐさめてくれば、だいじょうぶ。あかちゃんは、いつのまにかえがおです。

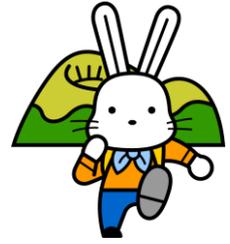
『とまとさんのあかいふく』（Eーヤマモ）

得田 之久／文 山本 尚明／写真 柿木原 政広／AD 福音館書店

くらいいろの、とまとさん。そんないろだと、だれだかわからない！ でもあかいふくをきれば、おなじみのとまとさん。さて、ほかのやさいやくだものは、どんないろのふくをきていたかな？



いいざか^いたんけん



ばんせい たいろ こくどう ごう
～万世大路と国道13号～

めいじじだい ふうしま よねざわ どうろ つく ふうしまけん やまがたけん
明治時代のはじめ、福島と米沢をむすぶ道路が作られました。福島県と山形県が
きょうりょく にばしや とお みち つく くりことうげ みなみ ほ
協力して、荷馬車が通れる道を作ろうと、栗子峠の南のふもとにトンネルを掘る
ことにしました。ですが、栗子峠の山は岩がとても硬く、手堀は難しいことがわか
りました。そこで、当時世界でも3台しかなかった削岩機をアメリカから輸入して
にしがわ ほ ひがしがわ ひと ちから ほ くろう の
西側から掘ることにしたのです。東側からも人の力で掘り、苦勞を乗り越えて、
にほんさいちよう くりこずいどう めいじ ねんかいつう
日本最長といわれた栗子隧道（トンネル）を、明治14年開通させました。この
どうろ めいじ ねん ばんせい たいろ なつ どうじ ほ
道路は、明治15年には「万世大路」と名付けられました。当時は掘りっぱなしのト
ンネルで、荷馬車がやっと通れるほどでしたが、何度も路線変更や改修工事をし
て、ふゆ くるま とお くりこ こくどう ごう かんせい へいせい ねん
冬でも車が通れる栗子ハイウェイ（国道13号）が完成しました。平成29年
にはとうほくちゆうおうじどうしゃどう かいつう あんぜん べんり どうろ ちいき
には東北中央自動車道が開通し、安全で便利な道路として、地域どうしのつながり
つよ きたい
を強くすることを期待されています。

<参考にした本>

『栗子ハイウェイ開通50周年記念誌』 栗子ハイウェイ50周年行事实行委員会 (K514-クリン)
『ふくしまの峠』 誉田 宏／著 福島県図書教材 (K291.2-ホンダ)

ほんのひろば 第28号 2018年12月発行



携帯サイトからも
蔵書検索ができます。



編集：飯坂学習センター図書室

〒960-0201 福島市飯坂町字銀杏6-11 Tel 542-2122

発行：福島市立図書館

〒960-8018 福島市松木町1-1 Tel 531-6551

ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>

携帯ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile/library/>